

「私もしゃべりたい！午後に向けたおしゃべりタイム」

ファシリテーター

木村 航氏

私は福津市津屋崎町でいろいろな街づくり活動をしている木村と申します。年の離れた人や経験が違う人などが、どうやったら街づくりにうまく取り組めるようになるかなど話し合ってきました。

本日は午後からミニ分科会が行なわれることになっています。

フォーラムのテーマは「ボランティアが活きる“ツボ”とは！」に対して、まだ答えというか何を話すかは分からない状態です。皆さんから、「こんなことを喋りたい」と思うことを挙げていただき、それについてとことん語り合うことが主旨となっています。

本日私の役割はそういう皆さんの想いや疑問、また課題を拾い挙げて、それを皆で共有して、話し合いができるような場づくりをすることだと思っています。

今日は4時までそういった時間を過ごしてまいりたいと思いますが、12時半からお昼休みになります。その前に午後に向けた準備運動をしておきたいと思います。

準備は2つです。

一つは皆さん、これから喋る準備をしていただきたい。時間を午前と午後に分けるとすれば、午前中は講演、事例報告など聴く時間、午後は皆さんが喋る・話す時間です。お昼ご飯をいただく前にお喋りで、軽いウォーミングアップをしていただきます。

今11あるテーブルそれぞれに6～7人の方に座って頂いています。今日たまたまそこに座っている皆さんですが、30分あまり皆さんでお喋りをしていただきます。メンバーと目と目を合わせ、笑顔でニコッと「こんにちは、〇〇です、よろしくお願いします」と言っていただきます。

(ここで各テーブルの人数の調整を行う)

これから11のテーブルに分かれてお喋りしていただきますが、もう一つ目的(準備)があります。それは何かと言うと、これから私たちはミニ分科会に入っていきますが、大きなテーマは「活かされたボランティアとは」です。只これについては少し漠然としていますので、これから私たちは特に「こういうことについて語りたい」、「『サブテーマ』と呼んでいます、この『サブテーマ』を挙げていただきたいと思います。それは皆さんが周りの人とお喋りをして、“これはいいね”とか特に“面白いね”とか、共感性の高かったものを挙げていただきたいと思います。それが午後の分科会のテーマで「活かされたボランティア活動とは」について話し合っていくための切り口となります。

これからの時間を「お喋りタイム」と名づけさせていただきます。

話して頂きたいことは、今日これまで講演や事例報告を聴き、その中で皆さん一人一人が感じたことや「このところはどうなっているのだろう」と疑問を抱いたことなどを自由に話してください。初め10分間ぐらいは自己紹介も含めて、今申し上げた

ようなことや、今日のフォーラムで「是非こんなことを話してみたい」と思っていた方は、それも話していただきたいと思います。各テーブルで順番などは問いません、お一人2～3分ぐらいで自由にお話ください。10分後声をかけます。

(約10分余り各テーブルにてお喋りタイム始まる)

お喋りタイムはいかがでしたか？これから午後のミニ分科会のサブテーマを考えてまいりたいと思います。お手元のA4の用紙を使いますのでご用意ください。皆さんの自由な意思に基づいて、午後のミニ分科会で語りたいサブテーマを書いて下さい。これを昼休みに事務局の方が仕分けを行い、幾つかの分科会をつくります。因みに、お断りしておきますがこのサブテーマは全員が書かなければいけない、というものではありません。書ける人が書いてください。色々な立場の人、いろいろな経験をしている人、いろんな分野の方がいらっしゃるよう、サブテーマを書かなければ分科会に参加出来ないというものでもありません。こういう事を解決したいという人に寄り添って、「アドバイスをしてあげたい」という方がいてもいいのです。またいろいろな話を聞きたい、と思う方は自由に各テーブルを渡り歩かれても構いません。

書いていただくことは、本日のテーマ「活かされたボランティア活動とは」に基づいて、午後の分科会で「文化ボランティアに関わっている人と話してみたい」ということです。

書き方は「問の形」、いわゆる質問の形でお願いします。分からない事について、この場にいる全員の力を借りて、何らかのヒントを貰いたいと思うようなことです。例えば「コミュニケーション」だけをサブテーマとして挙げても何を話していいかわかりません。だから質問の形にして欲しいのです。

例えば、「ボランティア活動をやりやすくする為に何をすべきか？」あるいは「ボランティア活動に関わっている人たちとのコミュニケーションを増やしていくには、どうしたらいいのか？」さらに言えば「施設と行政が打ち解けて話し合うには、どんな働きかけが必要か？」キーワードではなく、まだ自分がよく分からないと思うことについて問かけて下さい。話している内に問が見つかることはよくあることです。

それでは、12時45分までに提出して下さい。